

外壁仕上塗材の調査について

（外壁仕上塗材調査の趣旨・目的）

- 平成28年度に国立研究開発法人建築研究所により外壁仕上塗材の一部にアスベストの含有が判明（平成29年5月には環境省、厚生労働省からアスベスト含有仕上塗材の除去時の取扱いをレベル1とすることが通知）
- 建築物の解体等の工事におけるアスベスト飛散防止は、工事時の事前調査が基本であるが、日常的に補修等の工事が発生する市営住宅、学校等の市有建築物については、平時からアスベストの有無を把握し工事施工時のアスベスト飛散を予防する

（対応）

- 平成29年度から3年間の年次計画に基づき調査を実施し、施設管理者においてアスベスト含有状況を把握する
- 外壁の修繕工事については、作業要領を施設維持管理マニュアルに記載する

平成30年度

■調査概要

調査施設数	決算(千円)	備考
185	23,656	調査検体数 885件 アスベスト含有検体数 411件(46.4%)

（参考）平成29年度実績

調査施設数	決算(千円)	備考
143	20,084	調査検体数 731件 アスベスト含有検体数 228件(31.2%)

令和元年度

■調査予定

調査施設数	予算(千円)	備考
204	40,253	令和元年度 調査予定検体数 832件